

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

退院後 1 か月以内の予定外再入院のリスク要因と入退院支援加算との関連性

1. 研究の対象および研究対象期間

2024 年 9 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日に昭和医科大学病院、昭和医科大学江東豊洲病院、昭和医科大学横浜市北部病院、昭和医科大学藤が丘病院に入院した患者さん

2. 研究目的・方法

この研究の目的は、入院時に全患者さんに行っている診療報酬の「入退院支援加算」の算定要件のチェック項目と、既存の文献で明らかになっている早期再入院のリスク要因（在院日数、手術の有無、年齢、疾患、看護必要度）が、退院後 1 か月以内の予期しない再入院に与える影響を明らかにすることです。本研究を通じて、入退院支援加算項目が退院後 1 か月以内の予定外再入院のスクリーニング項目としての有効性を評価し、退院後、早期の再入院の防止に向けた新たな視点を提供することを目指します。

患者さんのカルテ情報から予定外の再入院と「入退院支援加算」の算定要件のチェック項目との関連性を統計的に分析します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの診療録から、入院の有無、入退院支援加算項目ア～タの 16 項目、入院日～退院日の日数、年齢、性別、主疾患名、手術の有無、入院理由、退院前日の看護必要度を用います。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学保健医療学部看護学科 富田真佐子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和医科大学保健医療学部看護学科

氏名： 富田真佐子

住所： 横浜市緑区十日市場町 1865

電話番号： 045-985-6525(直通) 045-985-6500(代表)